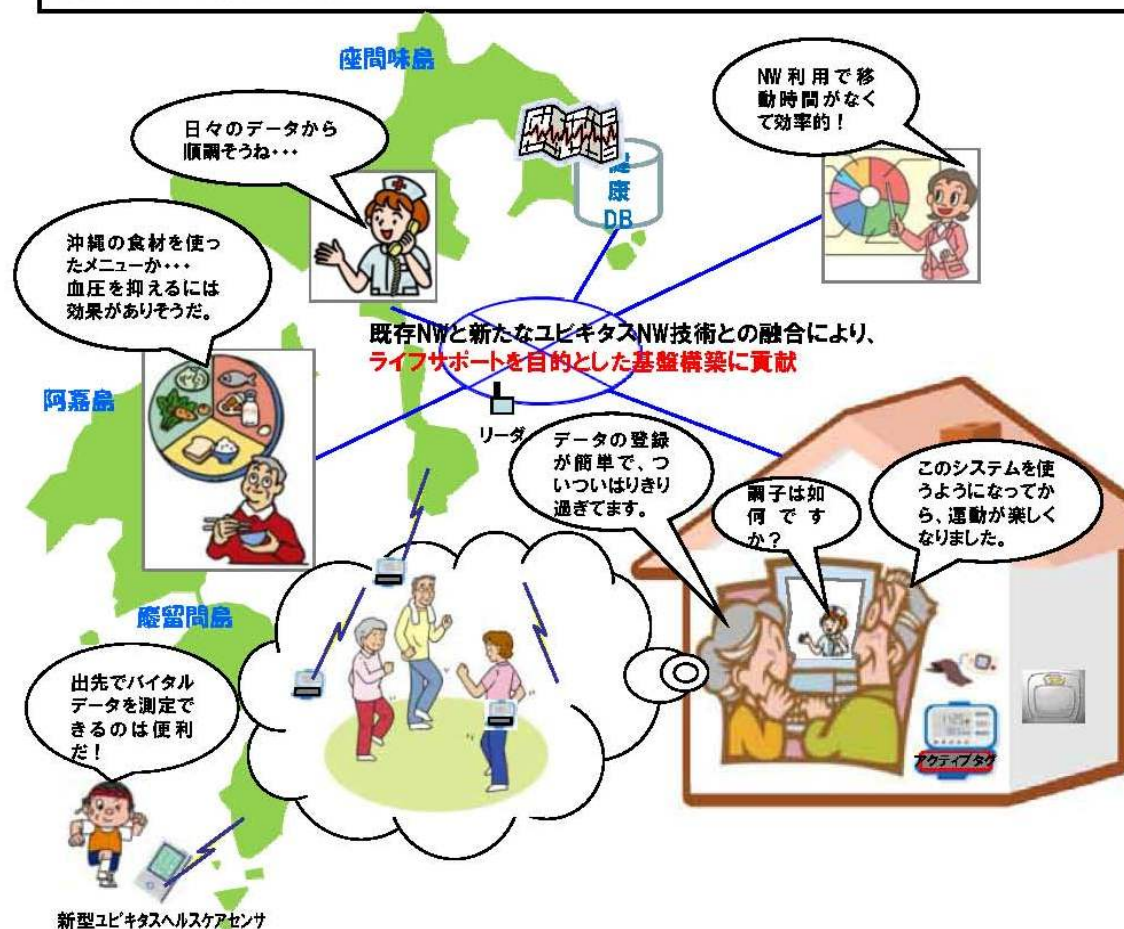


日々計測する「バイタルデータ」を「利用者が操作することなく」登録・収集し、NWを活用して「セキュリティ強固」に蓄積管理できるユビキタスヘルスケアサポートシステムを開発することで、効率的な**保健指導サービス**が可能となる仕組みづくりを目指す。



◆2つの開発・実証内容

- ①ユビキタスヘルスケアセンサの開発・実証
- ②ユビキタスヘルスケアサポート事業モデルの確立

◆3カ年計画の概要

平成20年度(Step.1)

- 歩数計でアクティブタグによるデータ自動転送の検証
- ヘルスケアサポート基盤のコミュニティレベルでの有効性の検証

平成21年度(Step.2)

- 複数バイタルデータのアクティブタグによりセキュア自動転送の検証
- ヘルスケアサポート基盤の個人宅までの拡張による保健指導サービス効果の検証

平成22年度(Step.3)

- ユビキタスヘルスケアセンサの有効性の検証
- ヘルスケアサポート基盤の高度化の検証
- 要素技術の業界標準への提案に向けた検証